

## プラン策定までの経過

年 月	内 容	
	策定作業	公表・意見募集
平成20年 7月23日	京都未来まちづくりプラン (骨子)策定,各局区通知	京都未来まちづくりプラン (骨子)公表
8月中旬~下旬	京都未来まちづくりプラン (案)の検討	市民意見募集(~9月12日), リーフレット配布
	夏の総点検「サマーレビュー」 実施(延べ24回開催)	市政改革懇談会(部会)で 行財政改革プランについて議 論(10月上旬まで計4回開催)]
12月 8日	京都未来まちづくりプラン (案)取りまとめ	京都未来まちづくりプラン (案)公表
	政策推進プラン〔年次計画編〕, 行財政改革・創造プラン〔実 施計画編〕の検討	パブリックコメント(~平成 21年1月13日)>
		未来まちづくり100人委員会 (12月20日)
平成21年		市政改革懇談会(全体会)か ら行財政改革・創造プラン (案)に対する意見(1月7日)
1月27日	京都未来まちづくりプラン 策定	京都未来まちづくりプラン 公表
2月中旬(予定)	政策推進プラン〔年次計画編〕, 行財政改革・創造プラン〔実 施計画編〕取りまとめ	政策推進プラン〔年次計画編〕, 行財政改革・創造プラン〔実 施計画編〕公表

施策・事業の磨き上げと見直しの両面から「未来まちづくり戦略策定プロジェクトチーム」(総企画局,総務局及び理財局の関係部課長で構成)と所管局とで議論

# 参考資料

## 1 京都市基本計画の進ちょく状況

(2次の実施計画で、着実に取組を推進)

京都市では、平成22年までの10年間の長期計画である「京都市基本計画」の実施計画として、平成13年度からの「安らぎ 華やぎ 京都21プラン」に続き、平成16年度からは「京都市基本計画第2次推進プラン」を策定し、同プランに掲げた全171項目の施策・事業の全てに着手するなど、着実に取組を推進してきました。

「第2次推進プラン実施状況」<http://www.city.kyoto.jp/sogo/seisaku/promop2/jissi/index.htm>参照

< 2次の実施計画の概要 >

実施計画名	期 間	予 算 額	施策数
安らぎ 華やぎ 京都21プラン	平成13~16年度	4,045億円	203
基本計画第2次推進プラン	平成16~19年度	4,290億円	171

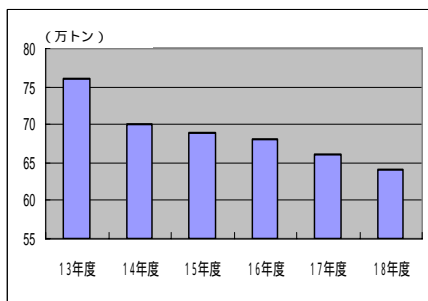
(平成16年度予算は両プランに重複して計上)

(多くの成果を挙げ、市民満足度も年々上昇)

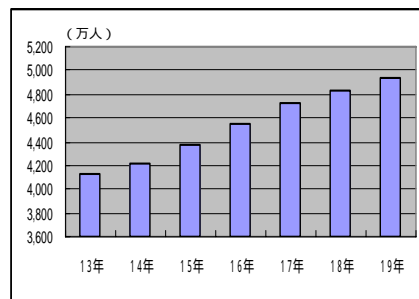
この結果、平成18年度にはごみ処理量が目標である対平成9年度比15%削減を上回る17.7%減を達成、入洛観光客数も平成13年から7年連続で過去最高記録を更新して目標である5,000万人が目前に迫るなど、基本計画において具体的な数値目標として掲げた40の指標(「数字で見る2010年の市民のくらしとまち」)の大半が目標を達成するか、数値が向上しています。

この結果、平成18年度にはごみ処理量が目標である対平成9年度比15%削減を上回る17.7%減を達成、入洛観光客数も平成13年から7年連続で過去最高記録を更新して目標である5,000万人が目前に迫るなど、基本計画において具体的な数値目標として掲げた40の指標(「数字で見る2010年の市民のくらしとまち」)の大半が目標を達成するか、数値が向上しています。

京都市のごみ処理量は  
着実に減少



入洛観光客数は  
過去最高記録を更新中



また、基本計画の進ちょく状況を毎年度評価する政策評価の結果も年々向上しています。とりわけ、政策評価の一環として実施している市民の皆様へのアンケート(市民生活実感調査)結果からは、市民の皆様の満足度が着実に高まってきていることが伺われます。

この結果、基本計画の推進状況を点検する第三者機関「京都市基本計画点検委員会」(西島安則委員長)からの報告書(平成19年12月)

においても、「基本計画は全体として相当達成された」と高く評価されています。

各分野(全106施策)ごとの市民満足度は  
着実に向上

	16年度 → 20年度	増減
大変良い	5 → 14 施策	+ 9
やや良い	21 → 32 施策	+ 11
どちらとも言えない	59 → 45 施策	14
やや悪い	18 → 14 施策	4
大変悪い	3 → 1 施策	2

(京都市市民生活実感調査)

「平成20年度政策評価結果」<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000046899.html>参照

「京都市基本計画点検委員会」<http://www.city.kyoto.jp/sogo/seisaku/tennkenn/index.html>参照

## 2 行財政改革の取組と成果

京都市では、平成7年度から間断なく行財政改革に取り組んでいましたが、予想をはるかに上回る市税収入の減少や少子長寿化の進展などの新たな環境の変化に対応し、更なる行財政改革を推進するため、平成16年7月、「京都市市政改革実行プラン」及び「京都市財政健全化プラン」を策定し、行財政改革に全庁挙げて取り組んできました。また、外郭団体の改革については、同時に策定した「京都市外郭団体改革計画」に基づき取組を進めました。（取組期間：いずれもH16～20年度）

さらに平成18年2月には、これらのプランを補強するものとして、「京都市「集中改革プラン」について」（取組期間：H17～21年度）を策定し、より一層の改革を推進しています。

両プランに掲げる取組項目の8割以上の目標を達成

「京都市市政改革実行プラン」，「京都市財政健全化プラン」に掲げる取組の全項目に着手するとともに，そのうち8割以上について目標を達成しています。

	市政改革実行プラン		財政健全化プラン	
	項目数	構成比	項目数	構成比
達成済み	50	83%	35	83%
取組中	10	17%	7	17%
合計	60	100%	42	100%

これまで以上の財政効果

両プランに基づき，4年余りにわたり取組を進めた結果，事務事業の見直しや職員数の減員などにより，公営企業も含めた市全体で900億円を上回る財政効果を挙げています。

<参考> これまでの行財政改革の取組

		「平成の京づくり」推進のための市政改革の取組	「京都新世紀に向けた市政改革行動計画」	「京都新世紀市政改革大綱」	「京都市市政改革実行プラン」，「京都市財政健全化プラン」	合計
期間		H7～9年度	H10～12年度	H13～15年度	H16～20年度	
職員数	減員数	1,246人		1,100人	1,301人	3,647人
	財政効果	算定していない	約124.4億円	約198.5億円	約329.6億円	約652.5億円
経費節減	事務事業の見直し等	約86億円	約133億円	約106.6億円	約278.8億円	約604.4億円
	公営企業	算定していない			約170.2億円	約170.2億円
公共工事のコスト縮減		-	約112億円	約102.3億円	約156.2億円	約370.5億円
合計		約86億円	約369.4億円	約407.4億円	約934.8億円	約1,797.6億円

## 京都未来まちづくりプラン

平成21年1月発行 京都市印刷物第203102号

発行:京都市 総合企画局政策推進室(電話 075-222-3035)  
総務局総務部行政改革課(電話 075-222-3050)  
理財局財務部主計課(電話 075-222-3288)

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

